



第1会場●2F 第4研修室

■司 会／古藤 康則 島根県立東部社会教育研修センター 課長
須貝 遊 佐賀県県民環境部まなび課 係長

分科会の進め方

10:45~10:50

1 地域の人材獲得・育成のエコシステム ～伊万里の地域人材育成の挑戦～

10:50~11:20

いわたて ただすけ(佐賀県伊万里市) 伊万里の求人運営事務局長・まちの大学いまり 代表

2020（令和2）年スタートの、伊万里市内の大手企業8社と伊万里市（企業誘致・商工振興課）を会員とする任意団体「伊万里の求人」と「まちの大学いまり」の実践活動である。

郷土で活躍する優秀な人材を獲得・育成するためのノウハウ等を外部組織「伊万里の求人」に集約し、学生には郷育を、社会人には郷土に貢献する教育を継続的に提供することを目的としている。注目は、企業と行政及び高校の相互依存のエコシステムである。

2 竹矢のわけえもんやらこい! ～若い人たちの力で住み続けたいまちづくりを～

11:30~12:00

山崎 祥子(島根県松江市八幡町) 島根県松江市東出雲公民館 主事

2018（平成30）年度に始まった本事業のきっかけは、市内で住み続けたくないまちワースト1になったことがある。どんな人たちにとって住み続けたくないのか、それはなぜか、という調査に取り組んできた館長と青少年育成会長の「若者会交流会」復活という二人のキーマンの声を背景に事業化した。

内容は、「若者会交流会」で幅広い地域の人（若者会、PTA、各種団体等）に、参加型の対話を提供するプログラムである。効果として、参加者同士が地域のことを語り合うことの満足感の醸成、各町内の若者会同士の交流事業スタート、住民による地域福祉計画への参画等がある。

3 防災・減災に向けた私たちの取組とその後

12:10~12:40

星野 洋子(福岡県朝倉市) NPO法人住みよいあさくらをつくる風おこしの会 理事長

「住みよいあさくらをつくる風おこしの会」は、行政と協働して地域の生活課題を解決するための活動と学習に関する事業を行い、男女共同参画の住みよい地域づくりに寄与することを目的として活動している。

2017（平成29）年度の九州北部豪雨による被災経験から、「手をつなごう朝倉防災プロジェクト」を企画し、「実践！命を守る防災力講座」等、市民向けの講座を行い、防災意識の向上を図っている。また近年は、ジェンダー平等の視点から、多様性を認めあう地域づくりへの取り組みを行っている。